

日程表

[戻る](#)

一般演題（口頭）72 / がん薬物療法（多職種連携）

【座長】

細井 一広 (弘前大学医学部附属病院)

2023/11/05 13:35~14:35 第10会場 展示棟 会議室1



[5-10-072-3] 13:35~14:35

咽頭癌外来化学療法中の失声患者においてICTを活用し複数医療機関や
地域包括支援システムとの連携および入院支援をした症例

印刷

【筆頭著者】鈴木 智香子 (おおかた調剤薬局)

【共著者】

岩高 美帆 (おおかた調剤薬局)

小徳 由梨絵 (おおかた調剤薬局)

大島 聖也 (おおかた調剤薬局)

赤城 優希 (長崎大学病院薬剤部)

赤城 友章 (長崎大学病院薬剤部)

山中 國暉 (おおかた調剤薬局)

【目的】

咽頭癌や下部咽頭癌の咽頭摘出術後の失声患者はコミュニケーション方法が限定され困難な状況に置かれることがある。また遠方の医療機関受診の際は近隣の医療機関や地域において情報が共有されず十分なサポートが得られないことがある。

今回はICT活用により保険薬局薬剤師が主導となり複数医療機関や地域包括支援システムとの連携および入院支援を行った症例について報告する。

【臨床経過】

下部咽頭癌。StageIV。男性。52歳。急変時受診指示されていた化学療法治療中の医療機関へは片道3時間であり通院困難の懸念があった。そこで近隣医療機関の患者情報をICTにて確認したところ数年前のデータはあったが現在の情報は無かった為、急変時対応が容易となるよう患者の同意を得、主治医へ報告し、近隣医療機関へ情報を提供した。

一方、化学療法治療中の医療機関の患者情報をICTで確認したところ遠方から通院する為、十分な聞き取り

[ホームページを開く](#)

